

一般社団法人 日本トイレ協会会長

高橋志保彦

第33回全国トイレシンポジウム実行委員長

山本 耕平

第33回全国トイレシンポジウム
誰もが楽しく歩ける「まちなかトイレ」を考える

—トイレ先進都市ヨコハマからの発信—

残暑厳しき折、会員の皆様にはご活躍のことと拝察申し上げます。

今年の全国トイレシンポジウムは11月18日（土）に横浜市旭公会堂で開催いたします。「誰もが楽しく歩けるまちなかトイレを考える—トイレ先進都市ヨコハマからの発信—」をテーマに、それぞれの専門家の方々から貴重な講演を頂くことになりました。

現時点では最終的な決定には至りませんが、今年の概要は次の通りです。

第33回全国トイレシンポジウム企画 プログラム

1. テーマ 誰もが楽しく歩ける「まちなかトイレ」を考える
—トイレ先進都市ヨコハマからの発信—

2. 趣旨

まちの中のそれぞれのトイレは大きく進歩してきましたが、まちづくりという観点からのトイレの位置付けは、まだまだ課題が少なくありません。特にバリアフリー、ユニバーサルデザインの観点から、障がい者、高齢者、乳幼児連れの人たちが自由に行動するためには、公共トイレ、商業施設のトイレ、駅のトイレ、コンビニのトイレなど、「まちなかトイレ」のネットワーク化や多機能トイレの効果的な配置、わかりやすい誘導サイン計画など、トイレをまちづくりの一環として位置付けていくことが必要です。昨年の第32回トイレシンポジウムでは「公共空間の多様な利用と整備におけるトイレのあり方」をパブリックデザインという観点から採り上げましたが、今回はトイレとまちづくりをより深く関係付け、まちの中のトイレを「まちなかトイレ」としてとらえ、誰でも楽しく歩けるトイレのあり方を広く考察していきたいと思えます。

開催地であるヨコハマは、明治期公衆トイレの発祥の地です。また1980年代から全国でいち早く「公共トイレ革命」に取り組み、まちづくりと連動しながら繁華街や駅前にデザイン性の高い公共トイレを設置し、障がい者、高齢者、乳幼児の利用に配慮した多機能トイレを初めて公共トイレに設けるなど、全国の自治体を先導してきました。また市民のまちづくりに関する活動も活発です。こうした経験に学びながら、まちなかトイレのあり方を議論したいと思います。

3. 開催概要

○期日 平成29年11月18日（土）9:30～17:30

11月10日は日本トイレ協会が定めた「トイレの日」、11月19日はユニセフが定めた「世界トイレの日」です

- 会場 横浜市旭公会堂 横浜市旭区鶴ヶ峰一丁目4-12 旭区総合庁舎4階
相鉄線鶴ヶ峰駅から徒歩7分（横浜駅から鶴ヶ峰駅まで約15分）
- 参加費 無料（概要集は実費販売 2000円程度）
- 主催 一般社団法人日本トイレ協会
- 後援（申請予定）

経済産業省、国土交通省、国土交通省観光庁、横浜市

日本科学未来館（一社）日本建築学会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本医療福祉設備協会、都市環境デザイン会議、（一社）日本医療福祉建築協会、（公社）国際観光施設協会、（一財）自然公園財団、（一社）日本福祉のまちづくり学会、全国管工事業協同組合連合会、NPO給排水設備研究会、（一社）日本能率協会、NPO法人地域交流センター、（一社）廃棄物資源循環学会、NPO法人横浜プランナーズネットワーク、NPO法人横浜ジェントルタウン倶楽部、NPO法人横浜シティガイド協会

○協賛（昨年度実績）

TOTO株式会社、株式会社LIXIL、（一社）日本レストルーム工業会、日野興業株式会社、株式会社総合サービス、日本カルミック株式会社、株式会社アメニティ、株式会社井戸屋、湘南ステーションビル株式会社、櫻木神社、株式会社オーイケ、株式会社シミズオクト、中日本ハイウェイ・メンテナンス東名、YAMATO-NB株式会社、トーションファシリティーズ株式会社

事務局

【第33回全国トイレシンポジウム実行委員会運営事務局】

実行委員長 山本耕平（一般社団法人日本トイレ協会副会長）

（株）ダイナックス都市環境研究所内

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5TKK 西新橋ビル

Tel. 03-3580-8221 mail:sympo@toilet-kyoukai.jp（担当 石垣）

4. プログラム案

【午前の部】

9:30 開会

開会挨拶：日本トイレ協会／横浜市

9:40-10:30

●基調講演 「横浜のまちづくりとトイレ」

講師：高橋志保彦氏（建築家、都市デザイナー）

新潟県生まれ。早稲田大学第一理工学部建築学科卒業、ハーバード大学大学院修士課程修了。竹中工務店等を経て、事務所設立。1988年から神奈川大学教授、2006年名誉教授。（一社）日本トイレ協会会長。
横浜馬車道計画、横浜開港広場のデザイン・設計で1986年「横浜まちなみ景観賞」、2004年「横浜市・人・まち・デザイン賞」、2006年には横浜の都市デザイン業績に対して「横浜文化賞」を受賞

10:30-11:10

●特別講演 「世界のトイレの最新事情」

講師：Mr. Jack Sim (World Toilet Organization (WTO) 世界トイレ機構設立者)

「世界トイレ機構」(World Toilet Organization)は、2001年に設立。シンガポールに拠点を置く非営利団体。「世界の公衆衛生の充実」を目的に、世界トイレサミットなどの活動を行っている。

※スピーチは英語、逐次通訳

11:10-11:40

●「グッドトイレ選奨」応募作品のプレゼンテーション

進行 村上八千世氏 (アクトウェア研究所)

11:40-12:00

●特別プログラム 子どもたちへ、トイレのメッセージソング『あしたトイレに行こう』

唄：サトミツ&ザ・トイレッツ

日本トイレ協会会員のお笑い芸人佐藤満春(どきどきキャンプ)が立ち上げた世界初のトイレバンド!「小学生男子が学校でウンチに行けない」問題に明るく向き合った1stシングル『あしたトイレに行こう』で2016年11月10日(トイレの日)についてCDデビュー!同日レコ初ライブを行い、テレビ、ラジオ、新聞など各媒体で取り上げられ、話題となった。

12:00-13:00 昼食・休憩

【午後の部】

13:00-15:00

●セッション1: トイレ利用者からの「まちなかトイレ」の現状と課題

コーディネーター: 川内美彦氏 (東洋大学人間環境デザイン学科教授)

- ①バリアフリーの視点から 岡村道夫氏 (NPO法人横濱ジェントルタウン倶楽部)
- ②インバウンド観光客とトイレ
- ③LGBTにやさしいトイレとは 三橋順子氏 (性社会・文化史研究者)
- ④子連れ外出とまちなかトイレ 今井幸子氏 (つるみ“ままつぶ”を作る会)

15:00-15:20 休憩

15:20-17:20

●セッション2: 設置・管理者からの「まちなかトイレ」の現状と課題

コーディネーター: 小林 純子氏 (建築家、日本トイレ協会副会長)

- ① ちなかトイレ等の環境整備に向けて 小野田 吉純氏 (横浜市建築局建築指導部担当部長)
- ②パブリックトイレ構想と公民連携を軸とした新たな公共トイレ概念
城山 佳胤氏 (豊島区政策経営部長)
- ③商業施設のトイレ 塩崎 匠氏 (株相鉄ビルマネジメント)
- ④コンビニのトイレ
- ⑤鉄道駅のトイレ 相模鉄道

17:20-17:30

●総括、閉会

【交流懇親会】

17:40-19:30 ※グッドトイレ選奨の入選作発表

5. 関連イベント

(1) グッドトイレ選奨

(2) 展示（公民館ロビーにて、市民向けの展示）

- ・グッドトイレ選奨応募作品パネル
- ・携帯トイレの備蓄など最近のトイレ問題についての啓発展示（日本トイレ協会）
- ・企業展示（協賛企業）
- ・日本最初の公衆便所模型（大田区立郷土博物館蔵、予定）

参考

・シンポジウム参加者予定 300人（前回約200人） ・交流会参加予定 70人（前回70人）

横浜市旭公会堂へのアクセス：横浜市旭区鶴ヶ峰一丁目 4-12

相鉄線鶴ヶ峰駅から徒歩7分（横浜駅から鶴ヶ峰駅まで約15分）



編集後記

やはり、関心を持って日々を過ごしているせいか、街中で「トイレ・便所」の文字に敏感に反応します。トレイや増便や減便、可笑しいのは大規模なおモチャ屋さんの名前にもです。そうした字が目の端を掠めると、アツと思うのです。皆さまはいかがですか。さて、33回目となるこの度のシンポジウムは、近代水道や公衆トイレ発祥の地たる港ヨコハマにおいて開催の運びとなりました。参加者一同ともに学び、伝え合い、会場で語られること、示されることに敏感に反応出来たら素晴らしいなと思います。爽やかな季節のなかで存分に楽しみましょう。（運営委員 赤堀時夫）

一般社団法人 日本トイレ協会

〒112-0003

JAPAN TOILET ASSOCIATION

東京都文京区春日1-5-3 春日タウンホーム1F～A

URL:<http://www.toilet-kyoukai.jp>

Tel 03-5884-6123

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp

